

社会福祉法人ぷらうらんど

○事業所名	ぷらうらんどkouminnkanひだか 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日 ～ 令和7年2月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 28		(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年2月20日 ～ 令和7年2月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4		(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等さらに充実を図るための取組等
1	様々な特性のある子どもが、見通しをもって活動し、言語化に関われていること。	視覚カード(写真など)を用いて、見通しや非言語児にはコミュニケーションツールとしても使用している。また、筆談ができる子どもにはホワイトボードも使って関われる取り組みを行っている。
2	体験活動を意識して取り入れている。	田植え、芋掘り、ピザ焼き、木工、調理、宿泊体験等、普段体験できないことに取り組んでいる。
3	自然が豊かで屋外活動も多く取り入れている。	竹林から伐採した竹でジャングルジムを作ったり、土、虫、草花等自然を感じながらの散歩、川遊び等さらに充実していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等
1	スタッフの人数により、子どもの特性に合った活動が制限されることがある。	個別対応を必要とする児童が増えると、他の活動に関わるスタッフがなくなり、活動を制限する必要性が生じる。
2	保護者に対して事業所の活動や児童への取り組みが十分に伝えられていない場合がある。	送迎時などに、要点等伝えてはいるが十分ではない。対応として保護者の許可のもと、活動の様子等を映像を交えお知らせしている。
3	保護者等交流は十分に行えていない。	保護者が集う場はあるが、参加者数や意見交流などは十分おこなえていない。集いの日時、内容等検討する必要がある。